

様式 1 1

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立多文化交流センター
指定管理者名	公益財団法人箕面市国際交流協会
開催日	令和6年（2024年）9月25日（水）
開催場所	箕面市立多文化交流センター2階 会議室
合議の出席者	大阪大学国際教育交流センター人間科学研究科 教授 近藤 佐知彦 氏 フェアトレードの会・楓 代表 三浦 弘志 氏 豊川南小校区青少年を守る会 副会長 塩谷 智子 氏 豊川南小地区福祉会 会長 井上 芳明 氏 箕面市民生委員児童委員協議会 豊川南小地区地区委員長 谷上 やす子氏

【概要】別添のとおり

様式 1 1

内容	令和6年9月25日（水）に実施した多文化交流センター指定管理者にかかる合議について、その内容及び結果をとりまとめました。 1) 指定管理者からの報告 ・ 項番1～6 事業結果報告およびアンケート結果、指定管理者の考え等 2) 合議メンバーからの意見及びその回答 ・ 項番2「小野原図書館利用者数について」センター利用者数の多くを図書館利用者が占めているようだが、新設された船場図書館へ利用者が流れていくことは市として想定の範囲内だったのか。 （箕面市） 船場地区の市民の満足度が上がるという点では良いと考えている。小野原図書館も引き続き利用していただけるよう取り組みを継続していく。 ・ その他「小野原図書館について」千里リハビリテーション病院が近くにあるため、連携した取り組み（読み聞かせ、リハビリなど）を行うのはどうか。 （指定管理者） 利用している患者の方もいると把握している。連携については出来る範囲で検討していく。 ・ その他「人材不足について」外国語講座を受講しているが、講師への連携不足等が見受けられる。人員の確保・維持は出来ているか。 （指定管理者） 常勤職員を増やし、労働環境の改善に努めている。 ・ その他「外国人市民との接点について」外国人市民は民生委員の存在を知らず、なかなか接点を持つことができない。どのように関わり、問題の早期発見につなげるべきか。 （指定管理者） 国際交流協会に相談してもらい、随時対応していく。今後の関わり方についても検討していく。 ・ その他「外国人市民のコミュニティについて」これまで留学生が多く在住していたが、就労や定住のために住む人が増加しており、市内の外国人コミュニティは変化している。SNSも普及しているため、デジタルを活用した取り組み・コミュニティ形成を行えば、外国人住民にとっても安心ではないか。 （指定管理者） 状況の変化とニーズを捉え、新たな取り組みや方法を思案していく。 3) 総評 センターの管理運営に対しては、全体的に高評価をいただき、今後も継続的に実施していくべきであると確認しました。全体のアンケート結果の点からみても、総じて指定管理者として円滑な運営を行っている、市として評価いたします。
-----------	---